

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公表番号】特表2006-528706(P2006-528706A)

【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2006-520709(P2006-520709)

【国際特許分類】

C 0 9 C	3/06	(2006.01)
C 0 9 C	1/36	(2006.01)
C 0 9 D	201/00	(2006.01)
C 0 9 D	7/12	(2006.01)
C 0 1 G	23/047	(2006.01)
A 6 1 K	8/29	(2006.01)
A 6 1 Q	17/04	(2006.01)
A 6 1 K	8/35	(2006.01)
A 6 1 K	8/37	(2006.01)
A 6 1 K	8/44	(2006.01)
A 6 1 K	8/49	(2006.01)
A 6 1 Q	19/08	(2006.01)

【F I】

C 0 9 C	3/06	Z N M
C 0 9 C	1/36	
C 0 9 D	201/00	
C 0 9 D	7/12	
C 0 1 G	23/047	
A 6 1 K	8/29	
A 6 1 Q	17/04	
A 6 1 K	8/35	
A 6 1 K	8/37	
A 6 1 K	8/44	
A 6 1 K	8/49	
A 6 1 Q	19/08	

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月9日(2007.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

酸化金属の懸濁液をpH=7からpH=11の値に、次いでpHをpH=5からpH=8に、好ましくはpH=6からpH=7の値に下げる事前のpH調整後に、pHを調整することなくステップb)を実施することを特徴とする請求項6~9のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

高温、好ましくは 50 から 100 の範囲の温度でステップ b ) を実施することを特徴とする請求項 6 ~ 11 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】

乳化剤を含まないエマルジョン、好ましくはビックリングエマルジョンであることを特徴とする請求項 13 ~ 20 のいずれか一項に記載の遮光性を有する組成物。